



弘前大学 資料館へ ようこそ

「過去から明日へ」をテーマとする弘前大学資料館は、弘前大学がこれまで積み重ねてきた研究・教育の蓄積と、これから何をどうめざそうとしているのかを広く知っていただきたための公開施設です。66年にわたって地域の方々とともに積み重ねてきた、その成果と明日への強いみなぎりをご覧ください。

展示について

本館の展示は、太宰治(津島修治)の自筆ノートをはじめとする、弘前大学の各部局で所蔵してきた貴重な資料と、今進めつつある新たな研究の紹介という二つを軸としています。

「前身各校の歩み」では、旧制弘前高等学校や青森医学専門学校の実物資料、明治時代に青森師範学校が出版した書籍等を展示しています。新制弘前大学については1949年(昭和24年)7月に開催された弘前大学第1回評議会の議事録をはじめ、詳細な年表と歴代学長、世界各地に展開する姉妹校など国際交流の現況を紹介しています。

「郷土資料」では、「津軽領元禄国絵図写」を大きなパネルとして展示し、「環境と未来への研究」では、本学の研究所やセンターが展開している研究のあり方を紹介しています。プロテオグリカンの研究から製品化された商品や白神山地で収集された標本類など多様なジャンルの研究成果をご覧いただけます。「先人の業績」では、学問・芸術の面で世界的な業績をあげた本学教員と卒業生を紹介しています。

本館展示の特色でもある「津軽の華」コーナーは、半世紀以上にわたって参加してきた弘前大学ねぶたの画像や歩みを3Dの映像とともに楽しんで下さい。

そのほかの常設展示コーナーでは、弘前大学の各学部研究科による特色ある研究成果の一端をご覧いただけます。さらに、企画展示コーナーでは学内の教員やグループによる調査研究の成果を随時展示する企画展も年間数回開催しています。

資料館の役割と使命

1949年(昭和24年)5月、前身校である旧制弘前高等学校、青森師範学校・青森医学専門学校を基盤として、新制弘前大学が開学しました。それから歩んだ66年間、弘前大学は青森県のみならず北日本地域の主要な高等教育機関として、大きな役割を果たしてきました。弘前大学の歴史を語ることは、弘前市や青森県の歴史を語ることにもなります。そうした弘前大学のエッセンスを凝縮した資料館は、今後、北日本地域の生涯教育を担う博物館施設としても期待されています。これからは、北日本地域のミュージアムや、全国他大学のミュージアムとのネットワークも充実させ、さらに多くの方々の知的なニーズに広く応えていきたいと願っています。

開館時間

10:00～16:00(入館は、15:30まで)

休館日

日曜・祝日・休日

盆期間・年末年始(12月28日～1月4日)

※都合により開館時間の変更、臨時閉館がございます。

アクセス

●JR弘前駅から

■徒歩の場合→約20分

■バスを利用する場合→約10分

駅前【3番のりば】から「小栗山・狼森線」

又は「学園町線」に乗車し、【弘前大学前】下車

●東北自動車道

■「大鰐弘前IC」または「黒石IC」から約30分

※大学構内には正門よりご入場ください。

※資料館入口は教育学部棟の南側となります。

※駐車スペースは、正門守衛室の指示に従ってください。



弘前大学資料館 〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地(弘前大学文京町地区キャンパス内)
電話/0172-39-3432 FAX/0172-39-3433

E-Mail jm3432@hirosaki-u.ac.jp http://shiryokan.hirosaki-u.ac.jp/



過去から明日へ

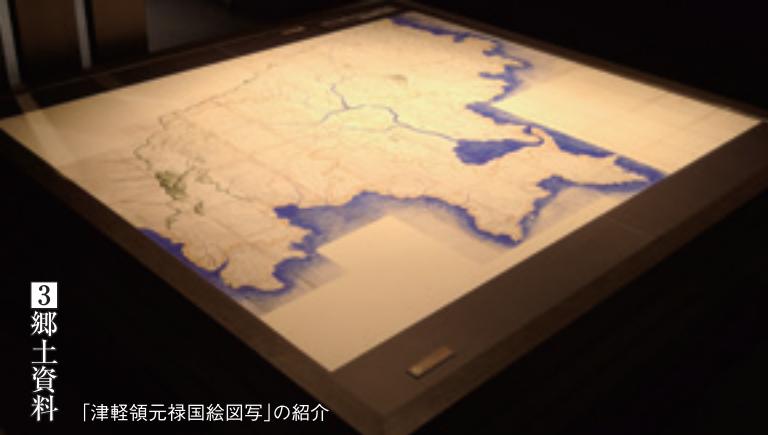


弘前大学 資料館



3郷土資料

「津軽領元禄国絵図写」の紹介



企画展示室



4環境と未来への研究



プロテオグリカンプロジェクト



弘前大学は糖鎖工学の豊富な研究成果をもとにしてプロテオグリカンの大量生成技術を開発しました。機能性食品、アンチエイジング介護改善素材、スキンケア製品・化粧品、医薬品及び医療素材の産学官開発プロジェクトの成果を展示しています。第9回産学官連携労働者表彰、農林水産大臣賞を受賞しました。



2弘前大学の歴史

弘前大学の歴史やキャンパスの移り変わり、太宰治の自筆ノート、歴代学長、国際交流などを展示しています。



1前身各校の歩み

旧制弘前高等学校や青森医学専門学校、青森師範学校等、弘前大学の前身に関する資料を展示しています。



展示室案内

Exhibition room guidance

展示資料の写真撮影はできません。
必要な場合は、事前の許可が必要です。



5津軽の華 ～弘前大学のねぶた～

弘前大学は初参加以来50年余に及ぶねぶた絵全点を保管しています。写真と3D動画でご紹介します。



7研究・教育の紹介

各部局（学部・研究科）の歴史と所蔵資料、研究成果を展示し、今後の取組などを紹介しています。

